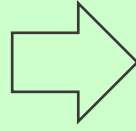


農業用水の安定供給による6次産業化の取組

経営体の概要

事業実施前（就農当時）
肉用牛（繁殖）：6頭
飼料作物（ローズグラス）
経営面積：0.5ha



事業実施後
搾乳牛：50頭、肥育牛：40頭
飼料作物（ローズグラス）
経営面積：15ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

本経営体は、昭和53年から新規就農し、就農当初は、肉用牛の繁殖経営を行っていたが、飼育期間が長期であることや収益面から酪農経営に転換している。

現在、畑地かんがい事業により適切な時期に計画的なかん水が行えることから、飼料作物の作付面積は就農時から30倍の15ha、搾乳牛50頭にまで経営を拡大し、市内2カ所で自家生産の生乳を使用した乳製品の加工、販売施設（ミルミル本舗）を開設するなど6次産業にも取り組み、全国農業コンクールの天皇賞を受賞するなど高い評価を得ている。

営農改善のポイント

①単収の向上

安定した農業用水が確保できたことで、夏場（6月～10月）の適時かん水により、収穫回数が通常の4回から6回になっている。また、10a当たりの収量も1.5倍に増加（4t→6t）しており、粗飼料の自給率は100%を達成し、自給飼料の購入経費が削減されている。また、牧草は3年に一度バックホウで根切を行い更新している。



飼料作物の栽培状況

②流通・販売の工夫

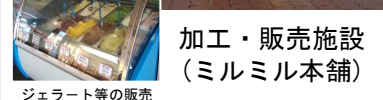
自家生産の生乳を使用した加工部門である「石垣島ミルミル本舗」を設立し、ジェラートやシャーベットを市内2店舗で提供しており、ジェラート等に使用する材料は、島内の農家が生産した市場に出荷できない果実（マンゴー、パイン等）を全量仕入れるなど、地域活性化にも貢献している。また、全国農業コンクールの畜産経営部門において、天皇杯を受賞するなど高い評価を得ている。



粗飼料の給餌状況

③担い手の育成・確保

ベトナムからの農業実習生3名やインドネシアからのインターシップ2人の受け入れを行い飼育技術のノウハウを伝授している。



ジェラート等の販売

加工・販売施設（ミルミル本舗）

事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市：石垣市
受益面積：4,338ha
事業期間：宮良川地区（昭和50年～平成4年）
名蔵川地区（昭和57年～平成10年）
石垣島地区（平成26年～）
事業目的：畑地かんがい
主要工事：ダム5箇所、頭首工3箇所
揚水機場及び加圧機場8箇所
用水路（新設）50km（改修）55km

位置図（沖縄県）



<局問い合わせ先>
沖縄総合事務局
農村振興課
電話：098-866-1652

（令和4年調査時点）